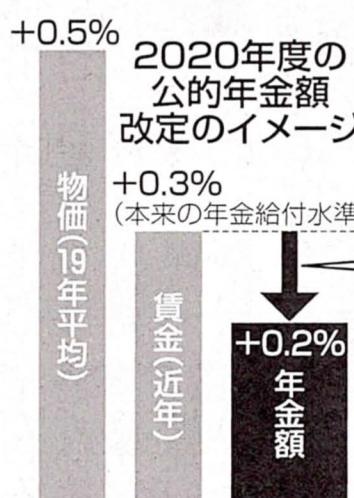


厚生労働省が1月24日、今年4月からの年金支給額を公表し、実質0・3%減額になることがわかりました。これまで安倍政権の7年間で合計実質6・4%も目減りするところになります。

マクロ経済スライドで支給額を抑制



「賃金」の変動に合せて額を増減させます。いわゆる「物価スライド」と「賃金スライド」です。

しかし物価が上がつても、自動的に物価を計算に使う場合、賃金の上昇がそれより低い場合は賃金に合わせて引き上げ額を抑制します。来

この結果、0・1%とされています。

これは、現役世代の減少率などに合せて年金の伸びを自動的に抑制するもので、今回

は0・1%とされています。

クロ経済スライドの0・1%

マクロ経済スライドで支給額を抑制

年度の支給額は、物価が0・5%増、名目賃金が0・3%増だつたため、賃金に合せて0・3%増となるはずでした。

「増額」といっても物価は

しているため、年金額が追

加され、年金額が追

加され、年金額が追